

## 主な内容

ふるさと宮まつり ..... 1 頁  
 割込む大企業への対策 ..... 2 頁  
 財務診断 ..... 3 頁  
 海の家開設 ..... 3 頁  
 見直される伝統工芸 ..... 4 頁



発行所  
創立明治26年8月  
宇都宮商工会議所  
宇都宮市中央本町  
4番12号  
〒320電話33-6231㈹  
編集兼  
発行人 金子浩蔵  
印刷所 三共印刷(株)  
宇都宮市の人口 349,405人  
当会議所会員 4,135人

## ふるさと宮まつり

## 宇都宮市制80周年記念祝賀



## 開催に当つて

## 八月七、八日芸能パレード

宇都宮市市制八十年を記念して、宇都宮青年商工会議所が中心になり、市民の心のふれ合いを大切に、明るい豊かな街づくりを目的に、八月七(土)、八(日)の両日、「ふるさと宮まつり」— での、ふれあいの広場—が行われることになりました。両日は午後七時から十時まで、池上町(下野新聞社角)から馬場通り四丁目(旧宮島、第勧銀前)までの大道通りを歩行者天国にして郷土芸能広場、若人の広場、ちびっ子広場を設け、山車、囃子、みこし、木やり、てこ舞いなどのパレードが繰り広げられます。

過ぐる太平洋戦における敗戦の焦土の中から今日経済大国といわれるほど、復興をなされた我が民族の活力は誠に見事でした。しかし、戦時および戦後荒削期のモノ不足、耐乏生活の長いトンネルから抜け出ると国民は一斉に、反射的に幸福の価値感をモノの豊かさのみに求めて、心の豊かさを置きざりにする風潮が一杯でした。

こう考えるのは独り私だけではなく、今日ほど心の問題が真剣に論ぜられているときは他にないと

わが宇都宮市も、今後十五ヶ年間にわたる「まちづくり」総合計画の中に「心のかよい合う人間性豊かなまち宇都宮」を得乗像としているのも当然のこと、まさに、時代を得たキャッチフレーズと存じます。

隣り近所の心のかよい合う「お付き合い」や「助け合い」から始まり「まちづくり」を市民共同

宇都宮市市制施行八十年を祝うこの「おまつり」として、より多くの市民参加によるまつり行事の調査研究を続けてこらえ、今回、宇都宮の市制施行八十年を祝うこの「宮まつり」を計画して日々実施に移されつつあります。

その行事内容も大通りを、お祭り広場として伝統のある郷土の特色を盛り沢山に取り入れた多種多様なものであり、よく考えたものと驚き、かつ、若者の新鮮な素晴らしい感覚に感銘を覚えました。理想と情熱に燃える豊かな未来を担う青年の心意気であります。この「宮まつり」をいづれ東北六県の三大まつりに匹敵する名物として上げ社会性豊かな「まつり」となるよう心から念願し、微力ながら大会会長を引き受けました。

この「おまつり」として、いと、ふれあいの広場、「ふるさと宮まつり」を計画して日々実施に移されつつあります。

宇都宮市公共職業安定所では、管内の中学生四校、高校二校の来春三月卒業予定者の求職動向を五月末現在で調査した。

○高校 卒業予定者は七、三五八人で、うち進学希望が三、三九七人、就職希望が三、五八七人、就職希望が二、二〇八人。

○中学校 卒業予定者は五、八八四人で、うち進学希望が五、六五八人、就職希望が二、二〇八人。

○高校 卒業予定者は七、三五八人で、うち進学希望が三、三九七人、就職希望が三、五八七人、就職希望が二、二〇八人。

○中学校 卒業予定者は五、八八四人で、うち進学希望が五、六五八人、就職希望が二、二〇八人。

昨年の同期の調査結果と比べると、卒業予定者は中学生が一二四

と、卒業予定者は中学生が一二四

と、卒業予定者は中



盛況だったさつき市 オリオン通り商店街

**体質と問題点解明**

企業の決算書をコンピューターで分析し、企業の体质と問題点を明らかにするための財務診断を行っています。

診断は原則として六、九、十二月の月末に行っており、診断の結果は、その翌月、企業の比率(添付、当所、または県の経営指導課に申込んで下さい。)ある場合申込み、調査票の記入の仕方はどは当所の経営指導員が指導します。

診断は原則として六、九、十二月の月末に行っており、診断の結果は、その翌月、企業の比率(添付、当所、または県の経営指導課に申込んで下さい。)ある場合申込み、調査票の記入の仕方はどは当所の経営指導員が指導します。

診断を希望する企業は規定の財務診断申込書を提出して下さい。

診断を受けられる業種は製造業、食品工業、卸売業、小売業、飲食料、紙製品、機械金属工業、玩具製造業、プラスチック製品、化粧品、小間物書籍、時計メガネ、スポーツ用品カメラ、写真材料、楽器、レコード、農機具、スマーマーケット

企業の決算書をコンピューターで分析し、企業の体质と問題点を明らかにするための財務診断を行っています。

診断は原則として六、九、十二月の月末に行っており、診断の結果は、その翌月、企業の比率(添付、当所、または県の経営指導課に申込んで下さい。)ある場合申込み、調査票の記入の仕方はどは当所の経営指導員が指導します。

診断を希望する企業は規定の財務診断申込書を提出して下さい。

診断を受けられる業種は製造業、食品工業、卸売業、小売業、飲食料、紙製品、機械金属工業、玩具製造業、プラスチック製品、化粧品、小間物書籍、時計メガネ、スポーツ用品カメラ、写真材料、楽器、レコード、農機具、スマーマーケット

**労働条件****税務問答****所得税の予定納税****本県の工業****商店街の通行量調査****子活****金藏****専務理事****勤連が三件も****五月の市内倒産****二荒山神社前でスクリーンブル交通****一荒山神社前で****新加入会員の紹介****敬称略****第五は、関係機関との連絡の強化****別記企事業の記事ご詳細は****さい。</**

